

平成20年10月19日

動物愛護団体アーク・エンジェルズ

代表 林 俊 彦 殿

アーク・エンジェルズの進出反対期成同盟  
高島の環境を守りアーク・エンジェルズ進出反対の  
地域活動を支援する会  
および10.19反対行動参加者 一同

## 犬の多頭飼育の中止について

貴殿が住民合意のないままに高島市に犬を持ち込んで、1年になろうとしています。

その間地元では、処理水の地下浸透による地下水の汚染や、敷地からの流水による河川の汚濁に脅えながら、逸走した犬を追っての深夜の宅地侵入、排水路に捨てられた草や雪が下流で詰まって起きた宅内浸水、野焼きの煙と異臭が人家に流れ込む大気汚染、1月の傷害事件など、多くの迷惑行為を被ってきました。

そして、去る9月16日には、闇に紛れてまたしても病犬を含む多数の犬が、何の前触れもなくはるばる北九州から運び込まれました。現在は100頭を超える犬が施設内に飼われ、鳴き声は四方に響き、臭気が周辺に漂っています。貴殿が公言した犬10頭に最低1人の飼育員は、到底確保されず、犬舎内の排水を処理する浄化槽の処理能力は50頭分しかなく、大量の消毒剤の処理が危ぶまれています。また、今なお運動場内の排水は地中へ浸透させています。このままでは、里山から琵琶湖へと環境汚染が広がります。

犬舎が位置するのは酒波地先の一地点ではありますが、単に当地だけの問題とせず、高島市の滋賀県の、ひいては淀川流域の環境問題と捉え、私たちは自らの生活を守るとともに上流域に生活する者の責任を果たすため、本日の反対行動参加者の賛同を得て、改めて「アーク・エンジェルズは受け入れていない」ことを表明し、貴殿に対して、高島市における犬の多頭飼育に怒りをもって抗議し、即刻多数犬の飼育を中止するよう求めるものです。